



江南の子

令和5年度
第12号

「太陽の挨拶」

教頭 山際雅透

ある朝、子どもたちが学校にやってくる時間、私はいつものように児童玄関で立っていました。子どもたちから次々と届けられる「おはようございます」というとても元気のいい声。この一言がどれほど私の心を温かくするか、言葉では言い表せません。その瞬間、私はこれを「太陽の挨拶」と名付けました。まるで朝日が昇るような、心地よい暖かさと輝きを放つ挨拶。それは、今年度江南小学校が目指してきた「かがやけ太陽の子」の教育目標を体現する瞬間でした。



挨拶は単なる形式的なコミュニケーション手段ではありません。それは心を開き相手に敬意を表し、自分の気持ちを伝える大切な行為です。この挨拶から始まる交流が学校生活の中での豊かな人間関係の礎となります。特に朝の「太陽の挨拶」は、一日のスタートを明るくし前向きな気持ちで一日を過ごす力を子どもたちに与えてくれます。

この教育的効果は、朝だけに留まりません。廊下での「こんにちは」や「さようなら」など日常生活の中での挨拶も自然と増えてきました。これは、挨拶が単に相手に対する敬意の表現であるだけでなく、自分自身を表現する機会であるということ子どもたちが理解し始めている証拠です。

先月の学校だよりで校長が述べた「挨拶で考える」というコンセプトは、この点を強調しています。挨拶はただ無意識に行うのではなく、その意味や価値を自分自身で考え、相手を思いやる心から発するものであるべきです。このような姿勢は、学校生活はもちろんのこと将来社会に出た時にも大切な人間関係を築く基礎となります。

また、このような教育的成果は、家庭でのご協力があってこそ成し得るものです。保護者の皆様におかれましては、日々の生活の中で子どもたちとのコミュニケーションを大切に、挨拶を含む基本的なマナーや礼儀の大切さを伝え続けてくださっています。学校と家庭が一丸となって取り組むことで、教育の効果は格段に高まります。これまでの保護者の皆様のご家庭での取り組みに敬意を表します。

最後になりましたが、今年度一年、保護者の皆様には江南小学校の様々な教育活動に多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。江南小学校では、引き続き「かがやけ太陽の子」という教育目標の下、子どもたち一人ひとりが自分の内に秘めた可能性を最大限に引き出せるよう、支援してまいります。

子どもたちの未来が一層輝きますように、新しい年度も引き続き皆様の温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。